



vol.1

ちえけら
大津の暮らしのなかにある
「check it out (注目!・見逃さないで)」なヒト・モノ・コトを発信する情報誌



特集：身近な《寄付》を知ってみよう。

食べ物で寄付「フードバンク滋賀」
ネットで寄付「びわこ☆1・2・3キャンプ」

市民公益活動公開講座

社会を変える仕事をしよう

ホームレスをビジネスパートナーにした
社会的企業「ビッグイシュー日本」の軌跡

7.16
(土)

「100%失敗する」と言われたホームレスが雑誌
を売る「ビッグイシュー日本版」。

創刊から10年余、多くの市民と挑戦し続け、ホ
ームレスに仕事を提供し、自立を応援する「ビッグ
イシュー日本」を立ち上げた佐野章二さんをお招き
します。県内では販売されていない「ビッグイシュー」
の最新号付。この機会をお見逃しなく！



ビッグイシュー
最新号付

日 時：7月16日 (土) 14:00～16:00

会 場：大津市ふれあいプラザ中会議室

(大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津5階)

参加費：1000円 (資料代*ビッグイシュー最新号付)

定 員：65名 (予約先着順)

申込先：077-527-8661 (大津市市民活動センター)

ふと疲れを忘れに立ち寄った文化ゾーンの芝生。
「この癒しの森で何かできたらいいな」という1人の女性の想いが、
たった1年で多くの人の心を動かしました。



癒し、つながり、涼を求めて 瀬田の森～タ涼みフェス2016

大津在住の福田佳奈さん。普段はフラダンスを教え、地域のイベントに呼
ばれることもしばしば。しかし、イベントなどの主催経験はなく「本当に自分
ひとりでイベントができるのか」「ヨソ者が勝手にイベントを企画して良いの
だろうか」「費用はどうしよう」と先立つのは不安ばかり。偶然にも大津ジャズ
フェスティバルが助成を受けていたことを知り、藁をもつかむ思いで早速調
べたそうです。

「(企画を聞いた時)地元は面食らっていた。しかし今では自治会をはじめ
各団が自分ごとのように応援している。」と語るのは瀬田東学区学園前コミ
ュニティ前自治会長の野原さん。福田さんのことを「先生、先生」と親しみを
込めて呼ぶ瀬田東学区女性の会の東さん。おふたりが地域との仲介役とな
ったことが大きかったであろう。地元の市議さん、そして県議さんまでが
方々へ働きかけてくれたそうです。

「まずは仲間づくりから」という教えを忠実に守った福田さん。「事務局6人
が一緒に動いていてくれるから、もう大丈夫」とのこと。「お客さんを2000人
くらい呼びたいけど、駐車場が足りない(笑)」と、笑いあえるチームがそこに
はありました。

子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで家族みんなで瀬田の森へ夏の
夕涼みに出かけてみてはいかがでしょうか。

平成28年度パワーアップ・市民活動応援事業：瀬田の森～タ涼みフェス実行委員会



日時：7月16日(土)

16:00～20:00

(18:00～ キャンドル点灯)

場所：びわこ文化公園西側原っぱ
(大津市瀬田南大萱町1740-12)

当日は、森のステージにてフラダンスや沖縄
三線、アンサンブルなど8団体が出演。
また、飲食や体験ブースなど計16店舗が出店
する“せたのもりマルシェ”や野外図書館など
楽しいイベントが盛りだくさん。

詳しくは、フェイスブック
「瀬田の森～タ涼みフェス2016」を検索！

夕暮れとともにキャンドルの
明かりが森を照らします。



KITCHEN



《砥石》

誰かをピカリと光らせ、スパッ
と切れるお役に立てたら、本望で
…。実は最近砥石で研ぐことがで
きるようになったのです。嬉しくて
。でも持たなくて。どなたか余っ
ていたらください(≥▽≤) [I]

《メラミンスポンジ》

あると便利!どんな汚れ
も洗剤いらず、自力でこす
れば解決。気づかぬうちに
細かな傷をつけしまわな
いよう気をつけます。[M]

《まな板》

いつも包丁に叩かれて痛みに耐え
て生きています。でも皆が喜ぶ美味し
い料理の最初のきっかけ。痛くても
なんか嬉しい。[Y]

《冷蔵庫に貼り付いてるマグネット》

お知らせをわかりやすくします。(わかりやすくしたくて貼り付いています) [K]

《穴あきレードル》

抱われ(救われ)たいのか、抱われ
(救われ)たくないのか。。[A]

《食器棚》

好きなものを
集めて並べてお
くのが好きな
で…。[O]

《おはし》

一人(1本)ではなに
もできないから。[T]

《鍋敷き》

お鍋(人)と食卓(地域)の間に
挟まれ(敷かれて)お役に立ちた
いなど。できれば一緒に食卓を彩
れるような小洒落た鍋敷きに憧
れます。[S]

大津市市民活動センター運営支援会 会員募集中!! (通称:市民活動センターファンクラブ)

市民活動センターでは、市民、市民団体、事業者、大学、行政等がよりよいまちをつくっていく取組を支援しています。

◎会員特典:メルマガ/交流スペースにてオーガニックコーヒー(1杯100円)が楽しめます。

発行:大津市市民活動センター

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階

TEL:077-527-8661 FAX:077-527-8662

HP: <http://movementotsu.com/>

*平成28年度より特定非営利活動法人HCCグループが指定管理者として運営しています

詳しくはスタッフまで



おっぴい〜

特集：身近な《寄付》を知ってみよう。

震災や難民問題、環境、地域活動など、さまざまな市民が中心となった活動が活発になってきています。活動には参加できないけれど、応援したいという気持ちで参加できる「寄付」にはいろんな形が生まれてきました。身近にできる「寄付」にはどんなものがあるのでしょうか？「食べ物が寄付になる」と聞いて「フードバンク滋賀」の太田さんにお話しをお伺いしてきました。



太田茂雄さん

大津・草津を中心に活動する「フードバンク滋賀」代表。「もったいない」から「ありがとう」へ。フードロスをなくし、食べ物を必要としている団体や施設などに届けるフードバンク活動を2009年から開始。他にもホームレス支援や貧困問題の解決に取り組む「NPO法人大津夜まわりの会」のスタッフとして活動。

*フードバンク

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設や団体等へ無償で提供する活動。アメリカでは1960年代から始まり、日本では2000年以降に設立されはじめました。

◎ 団体紹介

フードバンク滋賀

(全国フードバンク推進協議会加盟団体)
事務所：草津市桜ヶ丘4丁目13-25
TEL: 080-3804-4425 (代表：太田さん)

～ブログやFacebookで情報発信中！～
Blog: <http://compass.shiga-saku.net>

～いのちをつなぐ食と心を届ける～

《人が活動するには、まずは食事から》

リーマンショックで派遣切りにあった日系ブラジル人やペルー人の職業紹介活動などの相談にのっていましたが、仕事どころか日々の生活に困窮し、交通費と昼食代を天秤にかける人やコンビニで子どもの食事のためにパンを万引きした父親など、食事がとれないことで、生活バランスや家庭を崩している現実を目の当たりにしました。

このままではいけないと悶々としていた頃、アメリカで古くから行われている「フードバンク」の存在を知り、まずはいのちをつなぐ食の大切さに気づき、活動を始めました。



たくさんの食料をのせて大移動。農家さんからのお野菜の寄付も。

《食べ物を通して、心をつなげる》

フードバンク滋賀は全国でも珍しく、団体や施設ではなく最初から個人へ直接届ける取り組みを行っています。実は施設や援助団体といった社会資源にさえ繋がれずに社会的に孤立している人たちが多く、効率よく配るのではなく、食料の配達を通して、会話や血の通った気持ちを届ける活動が大切だと感じています。

現在、月・水・土曜日に15軒から20軒ほど1日かけて大津は下阪本から南部全域、草津・栗東全域、湖南を移動するため、1日の走行距離はだいたい120kmから多い時は200kmにもなります。



学生2名を含め10名ほどのボランティアに支えられています。

《私たち誰もができることから》

健康体操教室カーブスさんから取り組みにご賛同いただき、年に一度「フードドライブ」という形で協力いただいたり、農家さんから形や大きさを販売できないお野菜をいただいたり、最近、少しづつ取り組みを知ってもらう機会が増え、輪が広がってきました。

各家庭だとお歳暮やお中元などでいただいけれど嗜好や体質に合わず食べられない食品や使う予定のない食品の提供や、募金箱や食品提供箱の設置などの協力があると嬉しいですね。もちろんお米など主食もありがたいです。昨年、お米を2トンほどご支援いただきましたが、まだまだ足りない状況です。コーヒーも心を落ち着かせる作用もあるせいかとても喜ばれます。

フードバンク滋賀の活動は、事務や食品配達の補助など多岐にわたるため、ボランティアも募集しています。その人の時間や能力などできる範囲をマッチングしているので、いろんな方に関わってもらえると嬉しいです。

滋賀県内を全て網羅することはできないけれど、配達できない地域に対しても「できない」で終わらせるのではなく、「いのちに関わることなので、連携を通じてワンストップ・サービスで行いたい」と小さなSOSの声を必ずどこかへとつなげていく太田さん。聞けば聞くほどそのアツい活動に驚かされました。

☆☆食品募集中!☆☆

- ◎取扱品：米、乾物、缶詰、インスタント食品、レトルト食品、飲料、菓子類
- ◎寄付の条件：食品の送料については寄贈者負担、冷蔵・冷凍は×。賞味期限が1ヶ月以上残っている、未開封の食品。

ちょこっと世界から

Suspended Coffee (保留コーヒー)

19世紀頃から始まったと言われるイタリア・ナポリの助け合いの風習「il caffè sospeso (Suspended Coffee (保留コーヒー))」。カフェやバルでコーヒーを1杯注文する際に2杯分のお金を支払い「il caffè sospeso」と言い添えるだけで「お金の持ち合わせがない誰かに1杯サービスしてあげて」という寄付があります。それはお金持ちも貧しい人も「みんなでコーヒーを楽しもう」とおおらかさと「おすそ分け」という優しさが合わさった素敵な風習です。



この写真が世界に広がるきっかけに

ちょっといいことがあったら2杯分の代金でコーヒーを飲む。自分だけでなく見知らぬ人にもハッピーを「おすそ分け」。今、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）で世界中に広まり、飲み物だけでなく食べ物などいろんな形で広がっています。（台湾では「保留麵」も登場！）一人一人の善意の気持ちとお店の賛同によって様々な形で展開しています。

日本でも導入しているお店があったら注目してみてくださいね。

ネット
で寄付

びわこ☆1・2・3キャンプ

～放射能を気にせず遊べる環境を子どもたちに～

平成27年度に実施した大津クラウドファンディングセミナーに参加した「びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会」がクラウドファンディングにチャレンジしています。当実行委員会は、東日本大震災に伴う福島第一原発事故の影響で外遊ぶが難しくなった子どもたちに、自然豊かな滋賀で思いっきり遊んで欲しいという想いから2012年春から長期の休みを利用した保養キャンプを実施しています。

すべての子どもたちが安心して生活できる環境になるまでキャンプを続けていけるよう挑戦している団体の想いや活動を応援したいと思った方はマクケア びわこ123やFacebook(びわこ*123キャンプ)で検索を！



*クラウドファンディング

インターネットを通じて多くの人々に小口の資金提供を呼びかける、いま世界で注目を集めている資金調達方法。

*保養キャンプ

原発事故により放射能汚染された地域の人たちが、休日などを利用して、被ばくの不安から一時的に離れ、心身の疲れを癒す取り組みのことです。とりわけ、子どもたちにとって十分な屋外遊びの時間を持つことは、心身の健康や成長にとってなくてはならないもので、チェルノブイリの経験から一定期間の保養により放射性物質が体外に排出され、免疫力が大きく高まることが知られています。

☆☆カンパやボランティアも募集中!☆☆

《申込み・問合せ》

事務局：暮らしを考える会(藤本)
TEL: 077-586-0623
FAX: 077-586-1403
Email: kurashi1841@nifty.com

《カンパ振込先》

振込口座記号番号 00910-1-256985
加入者名 びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会
*一口1,000円(何口でも可)